

あとがき 「スーパー磁石の世界」

スーパー磁石の威力は、トンカチがくっついて離れない、空き缶が飛び付く、アルミの板が粘りつく、などなど、想像を絶するものです。子どもから大人まで、老若男女だれでもが、時間を忘れて磁石のふしぎな世界にひきずりこまれてしまいます。スーパー磁石の威力を楽しんでいただくのはもちろんのことですが、著者はそれ以上の鳥肌が立つような感動を目指してきました。

スーパー磁石による現象は迫力満点なので、思わず「なんでやねん！」と考えさせられてしまいます。ここで、自分が考えたことが正しいかどうかを実験で確かめ、もしそれが正しいと分かっていたら鳥肌ですよね。偉人や天才、学校の先生から「正解！」をいただいたのではなく、自分の力で正解を見つけたのですから。大発見です。科学者もこのような経験で日夜を問わず研究に没頭してしまうでしょう。

この感動を味わっていただこうと、2002年に初めてスーパー磁石を使ったサイエンスショーを企画しました。「磁石のひみつ」と題して、「なぜ鉄が磁石につくか？」を考えるものです。日立シビックセンター科学館でのサイエンスショーフェスティバルで演じたところ、アウエーにもかわからず大うけでした。その後、忒匹目のドジョウを求めて、スーパー磁石を使ったサイエンスショーを3種類を企画し、展示も製作してきました。それぞれ素晴らしいものができたと自負しています。スーパー磁石さまさまです。

このような磁石にまつわる著者独自の企画を本書に綴りました。文字と写真では、その一部しか表現できません。そこで、web ページに動画をたくさん用意しました。



<http://www.sci-museum.kita.osaka.jp/~saito/minibook/>

それでも、生の現象に勝るものはありません。大阪市立科学館ではスーパー磁石のサイエンスショーが時々実施されますし、スーパー磁石の展示はいつでもご覧いただけます。本書を手に、ぜひ、大阪市立科学館で磁石の世界を楽しんでください。

スーパー磁石は当時の住友特殊金属株式会社から寄贈いただいたものです。その後も多くの方々に、著者の厚かましいお願いにも関わらず、快くご協力いただきました。おかげで磁石による普及活動は非常に厚みを増したものになりました。ここに厚く御礼申し上げます。

2016年3月 著書